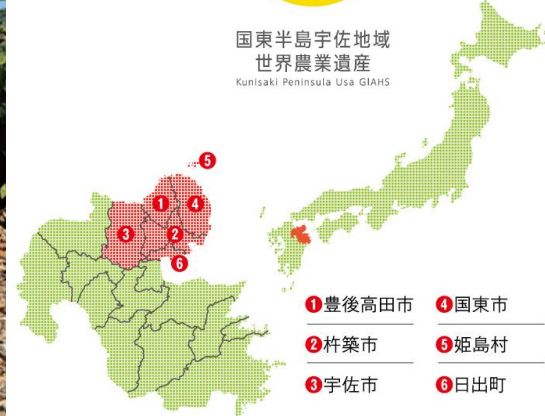


クヌギ林とため池がつなぐ 国東半島・宇佐の農林水産循環

～森の恵み しいたけの故郷「木が食材を生む」～



国東半島宇佐地域
世界農業遺産
Kunisaki Peninsula Usa GIAHS



大分県国東半島宇佐地域

しいたけ栽培のほだ木に利用するクヌギは、約15年のサイクルで伐採・萌芽・再生を繰り返し、クヌギ林が維持されます。クヌギ林は雨水を蓄え、そこから有機物を含んだ湧水をいくつものため池に溜めて、農業に利用します。

豊かな自然・産業を育むクヌギ林

明るいほだ場を活用し、高品質な乾しいたけを生産

しいたけ原木の供給／膨軟な土壌による保水
安定した湧水の維持／地域景観の形成

クヌギの循環システム

原木

落ち葉

ほだ木

廃ほだ木

膨軟な保水層を形成

保水層が雨水をかん養

有機物
栄養塩

特産のしいたけ

複数のため池を連携させた用水供給システム
約1200のため池群

水の循環システム

灌漑用水として利用

農業用水の供給・治水／
地下水かん養と水質浄化
水辺風景形成／生物多様性の維持

水田農業



地域内には、15世紀からほとんどそのままの姿で現在に伝わる農村景観もある（左）。シチトウイは、い草より強健で耐久性に優れた畳表の材料で、現在は国東半島地域が国内唯一の産地（右）。

育まれる生物多様性・文化



ため池をつないだ用水供給システム



複数のため池をつないで農業用水を供給するシステムは、貴重な水を効率的に利用する雨の少ない半島ならではの知恵から生まれたもの。



次世代への継承

小学校、中学校、高等学校で世界農業遺産に関する学習を実施

- ・小学校：世界農業遺産を題材とした教材本(マンガ)を使用した授業を実施
(R5年度 認定地域内全59校)
- ・小学校：世界農業遺産を題材とした作文コンクールを実施(R5年度 応募点数21校・141点)
- ・中学校：農林水産業従事者を講師とした出前授業を実施(R5年度 認定地域内全23校)
- ・高等学校：農業者等に聞き取りを行い記録を残す、「聞き書き」を実施(R5年度 県内11校)



▲教材本(マンガ)



▲中学校特別授業



▲高校生聞き書き発表会

- ✓ 生まれ育った地域への理解と誇りが醸成されている。
- ✓ 聞き書きに参加した高校生が地元で就農を目指しているなど、農業を担う次世代の育成につながっている。

地域の元気づくり

魅力発信

- ・多様な媒体による世界農業遺産の魅力発信
- ・他の認定地域と連携した魅力の発信

交流人口の拡大

- ・地域資源の発掘と磨き上げ
- ・受入体制の整備
- ・地域の自主的な活動への支援

ブランド化

- ・世界農業遺産地域ブランド認証品を4品目設定
(乾しいたけ、シチトウ加工品、米、茶の湯炭)
- ・シンボルマークを貼付した世界農業遺産応援商品の拡大(61企業・団体282商品)

- ✓ 認知度向上による、来訪者の増加や地域商品の販売促進
- ✓ 地域の自主的な活動の広がり



▲田植え体験交流



▲ブランド認証品「茶の湯炭」



▲各種応援商品